

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後支援さくらんぼ				公表日	令和7年12月20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		厚生労働省の定める規定通り		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		厚生労働省の定める規定通り		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		こどもの動くスペースと安静にするスペースを分けて確保している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		こどもが帰った後に掃除を行い清潔を保っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		クールダウンスペースを確保している		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		業務開始、終了時に振り返りをし、改善をしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		年1回アンケートを実施し、業務改善に繋がっています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		児童発達支援管理責任者が職員とコミュニケーションを取り、職員の意見を聞き取っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		100%		今後実施していく予定	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		法人で行われている業務に係わる研修を実施（虐待防止、感染症予防）		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		ホームページに掲載している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		ニーズや課題を分析し、計画を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		事業所内での会議を行い、職員と一緒にこどもの様子や事業所内での課題を聞き取っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		計画を用いて振り返りを行うようにしている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		日々の行動観察を中心に確認している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		こどもによって必要な項目を設定し支援内容を記載している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		職員間での会議やこどもからの意見を反映して検討・実施している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		職員と活動プログラムを話し合い、製作などでも常に新しいものを提供している。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%		個別活動は、学習・余暇・個別製作を実施、集団活動は、体操・園芸体験・レクレーションや季節の行事等を組み合わせています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		業務開始前にスケジュールや学校からの連絡事項、保護者からの連絡等の確認をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		支援終了時に振り返りを行い、学校、保護者、こどもの情報を共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		個別支援計画に沿った記録をしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		半年に1回を基準とし、必要に応じてモニタリング・見直しを実施しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		こどもに活動の選択をしてもらい、自分の決定がよかったかどうかを振り返ってもらった時間を設けている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		児童発達支援管理責任者と職員1名で参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		同敷地内にある障害者支援施設を通して各種関係機関と連携を図っている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		情報共有や連絡調整は適宜行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%		就学してすぐの小学生がいないこと、中・高等部の利用児童であるため、就学前の施設との積極的な情報共有は行っていない。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%		相談支援事業所を通じて情報を提供している	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%			今後、必要に応じて連携を取っていく予定
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	100%		学校休業日には、事業所外へ出て公共施設などを利用し、利用児童以外のこどもや大人と関わる機会を設けている	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%		参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		送迎時に情報共有を図っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%		主に事業所に来るお知らせを用いて情報提供を行っている	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		契約時や内容に変更があった際には説明を行い同意を得ている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		こどもやご家族の意向を聞き取る環境設定を図っている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		相談に対して適宜対応している	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%		保護者同士の交流の場は提供できていないため、今後希望に応じて開催していく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		いただいたご意見（苦情を含む）に対しては、可能な範囲で迅速に対応している。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		連絡帳や送迎時に必要な情報を伝えている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		留意している
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%		同敷地内にある障害者支援施設の行事に地域住民等も参加しており、そこにこどもたちも参加している
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		訓練を実施している
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		訓練を実施している
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		アセスメントシートで継続している服薬等については把握している。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		医師の指示書がある場合は、指示書に基づいて対応している
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		行っている
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		家族との連絡が取れるよう、緊急連絡先等の確認は適宜行っている
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		ヒヤリハットが発生した際はすぐに事業所内で対策を検討している
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		法人内の虐待防止研修を実施している
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		身体拘束について説明しているが、危険行動のリスクが極めて低いため、計画に記載しているこどもはいない	